



X-TOUCH EXTENDER

X TOUCH EXTENDER with 8 Touch-Sensitive Motor Faders, LCD Scribble Strips, USB Hub and Ethernet/USB Interfaces

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カート

を使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

限定保証

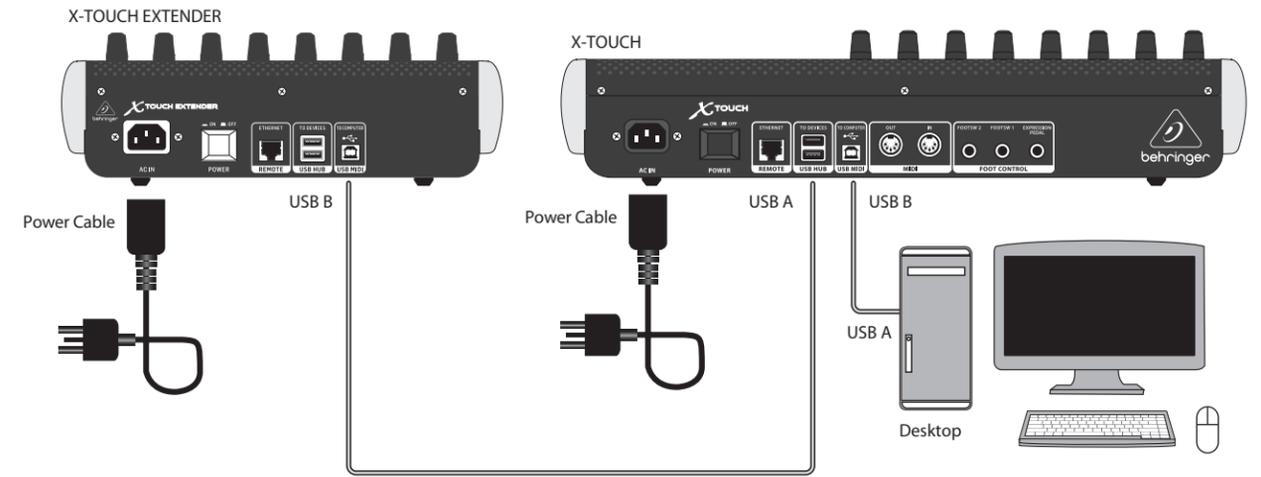
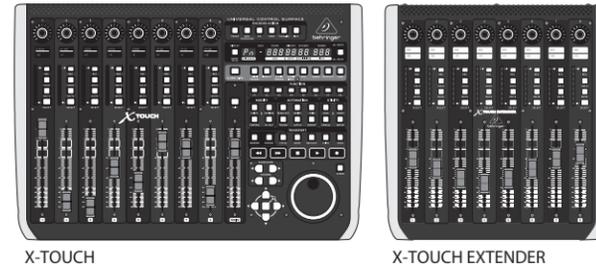
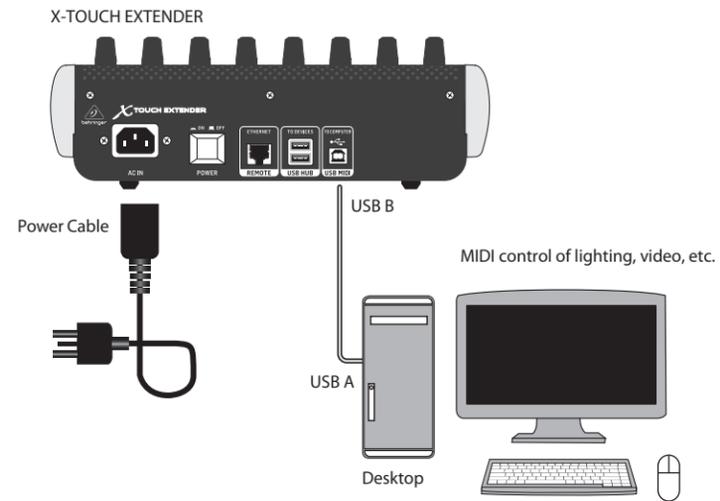
適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

X-TOUCH EXTENDER フックアップ

ステップ 1: フックアップ

X-TOUCH への接続

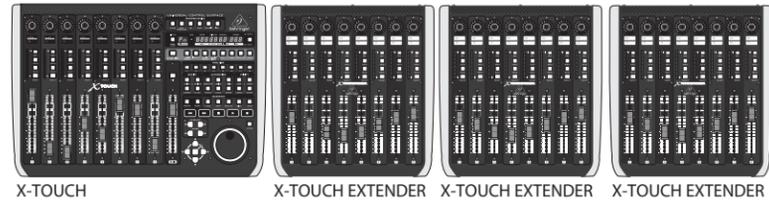
シンプルシステム



X-TOUCH EXTENDER フックアップ

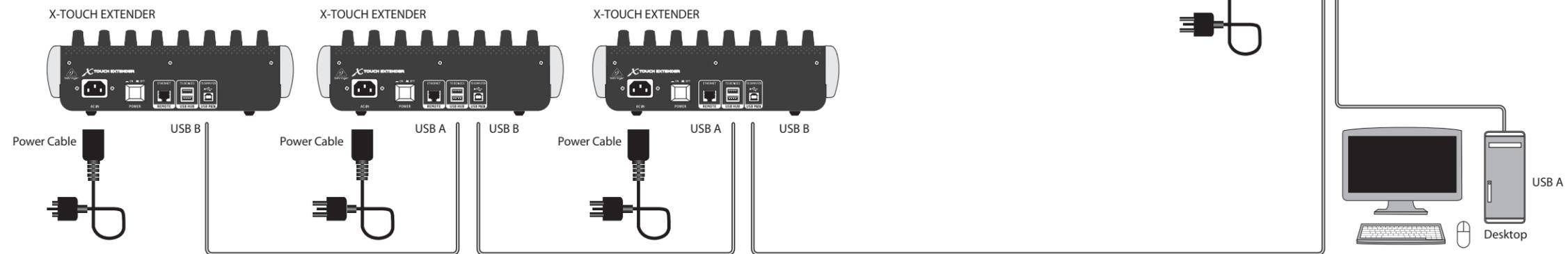
JP

ステップ 1: フックアップ

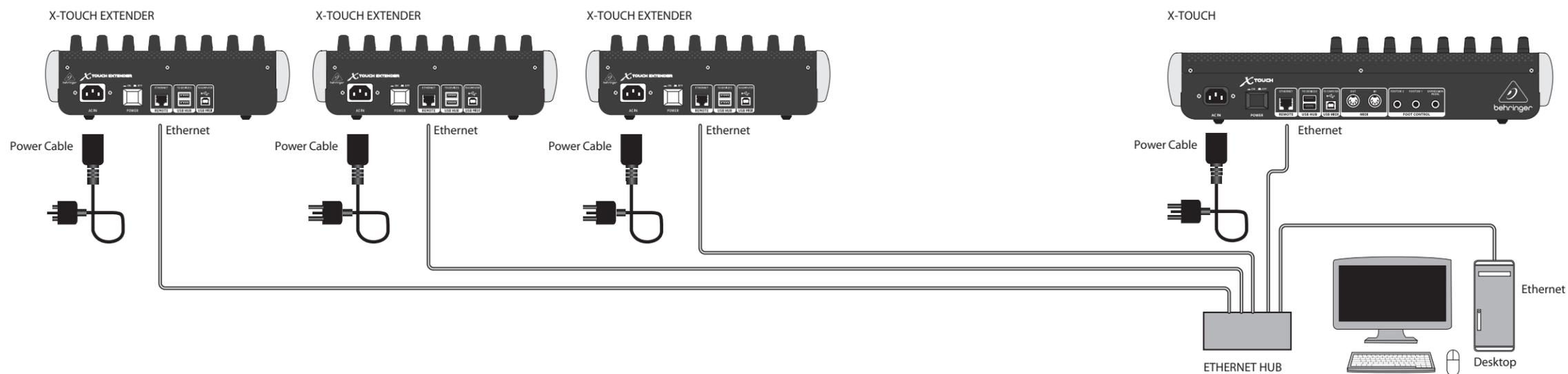


重要: 同型ハードウェアコントローラーの複数使用に、対応していない DAW もあります。

USB を使用した接続

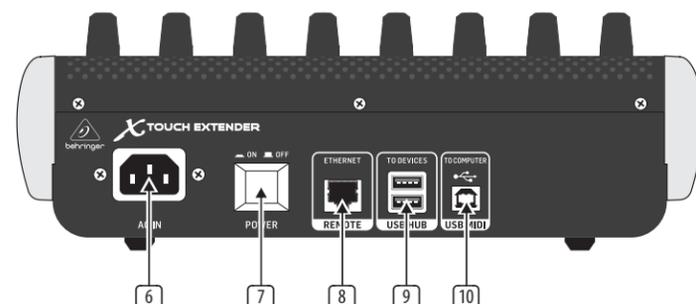
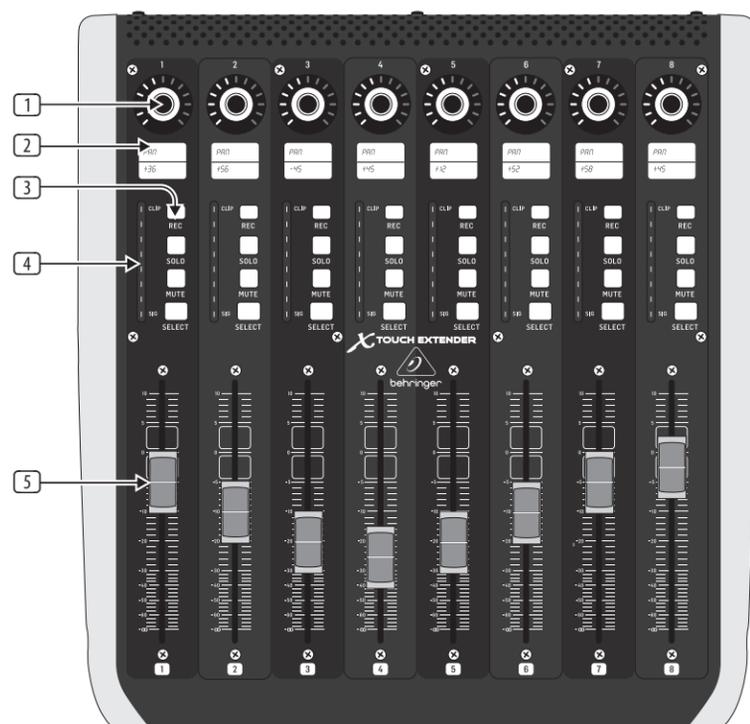


イーサネット ネットワークを使用した接続



X-TOUCH EXTENDER コントロール

ステップ 2: コントロール



ステップ 2: コントロール

X-TOUCH EXTENDER コントロール類の機能は、お使いの DAW によって大きく変わります。下記は、お使いの DAW がそれらの機能に対応している場合の、MC モードの理想的な状態です。お使いの DAW の、MIDI ランモード等の機能をお調べいただければ、フィジカルコントローラーにソフトウェアやプラグインの様々な制御機能を割り当ててご使用いただけます。

- 1 **Push encoder knobs** – 8 つのエンドレスエンコーダーはデテントとプッシュ機能 (非点灯)、13 段階の LED を備えています。通常、デジタルオーディオワークステーション (DAW) で、AUX センドや定位コントロールなどを細かく制御するため使用します。
- 2 **Scribble strips** – DAW ソフトウェアの様々なパラメーターやラベルを表示する、8 つの LCD ディスプレイです。エンコーダーで調節可能な、ユニットの諸々の設定や調節も表示します。
- 3 **Channel buttons** – 各チャンネルに 4 つずつあり、個々の DAW ミキサーチャンネルアプリケーションに使用します。

Rec (録音) – 録音態勢になります。

Solo (ソロ) – 押したチャンネルをミックス内で分離します

Mute (ミュート) – チャンネルをミュートします

Select (セレクト) – 編集するチャンネルを選択します。

するとミキサーコントロール類が選択したチャンネルの設定に使用できるようになり、詳細が各スクリブルストリップに表示されます。

- 4 **Channel meters** – 各チャンネルの信号レベル、信号入力の有無 (SIG)、信号のクリップ (CLIP) を表示する 8 つの 8-LED メーター。
- 5 **Faders** – タッチセンサー式の 100 mm モーターフェーダーで、通常、DAW アプリケーションのレベル機能で精緻な制御をおこないます。

背面パネル

- 6 **AC IN (AC 入力)** – 付属の AC 電源コードをしっかりと接続してください。もう一方の端を AC 電源コンセントに接続します。安全用アース端子を折らないでください。
- 7 **POWER (電源) スイッチ** – 押し込むとユニットの電源がオンに、ボタンが出っ張った状態ではオフになります。必要な接続を完了するまでは、電源をオンにしないでください。
- 8 **REMOTE (リモート)** – RTP MIDI 対応の DAW を接続するためのイーサネットインターフェイスです。
- 9 **USB HUB (USB ハブ)** – USB マウス、キーボード、X-TOUCH MINI のような USB MIDI コントローラー、USB MIDI キーボード等を接続する、USB タイプ A コネクターです。ハブは X-TOUCH EXTENDER ではなく、コンピューターと直接通信します。各コネクターは 5V の USB 給電をします。ハブは X-TOUCH EXTENDER の電源がオンで、稼働中のコンピューターと UAB MIDI コネクターで接続されている間のみ有効です。
- 10 **USB MIDI** – コンピューターの USB ポートと接続し、MIDI データ通信 (送信 / 受信) をおこなうための、USB タイプ B コネクター。

X-TOUCH EXTENDER はじめに

ステップ 3: はじめに

概説

このスタートアップガイドでは、X-TOUCH EXTENDER のセットアップの解説および、簡単な機能紹介をします。X-TOUCH EXTENDER を使用すると、高品位コントローラーの精密なタッチおよびフィードにより、DAW ソフトウェアを制御できます。32 個の便利なライトつきボタン、8 つの回転式プッシュ・エンコーダーに加え、8 つのタッチ・センシティブ 100 mm モーター・フェーダーを備え、多様な DAW を、さまざまなオペレーションモードで操作できます。

オペレーションモード

X-TOUCH EXTENDER は、対応音楽製作ソフトウェアとのシームレスな統合を可能にする、HUI および Mackie Control (MC) 通信プロトコルに対応しています。本ユニットを単体で使用する場合は、“Mackie Control” サーフイスモードに、X-TOUCH ユニットと一緒に使用する場合は“Mackie Control XT”にします。

Ctrl は MIDI Controller モードで、各エレメントは、絶対 MIDI メッセージを送信します。

CtrlRel は Ctrl MIDI Controller モードと同様ですが、相対 MIDI メッセージを送信します。モード変更の手順は、下記「コンフィギュレーションメニュー」の項をご覧ください。

ソフトウェアセットアップ

X-TOUCH EXTENDER は USB クラスコンプライアメント MIDI 機器のため、ドライバーのインストールは不要です。

コンフィギュレーションメニュー

X-TOUCH EXTENDER のコンフィギュレーションメニューにアクセスするには、チャンネル 1 の SELECT ボタンを長押ししながら、ユニットの電源を入れます。チャンネルスクリブル画面に、変更可能な様々なパラメータが表示されます。

エンコーダー 1 を回すと、MC、HUI、Ctrl、CtrlRel 等のエミュレーションモードを変更します。

エンコーダー 2 を回すと、インターフェイスを USB と Network の間で切り替えます。必要に応じ、エンコーダー 3~7 を使用してネットワークの詳細を設定してください。

エンコーダー 8 を回すと、ディスプレイのコントラストを 0-100% の間で調節できます。

チャンネル 1 の SELECT ボタンを再度押すと、設定を保存し、選択したエミュレーションを開始します。

ハードウェアセットアップ

まずシステムの接続をすべて済ませてください。

X-TOUCH EXTENDER に AC 電源を接続し、電源スイッチを入れます。

セットアップは、X-TOUCH EXTENDER で、USB / ネットワークのいずれのインターフェイスを選択したかにより変わります。

USB: X-TOUCH EXTENDER を、付属の USB ケーブルを使用して、直接お使いのコンピュータの USB ポートに接続します。

ネットワーク: IP、Mask ほかの設定が完了したら、お使いのネットワークにリモートイーサネットポートを接続します。ネットワークインターフェイスの場合は、お使いのネットワーク上で X-TOUCH EXTENDER を探してください。

お使いの DAW ソフトウェアで、X-TOUCH EXTENDER を MIDI コントローラーとして選択し、ご使用ください。

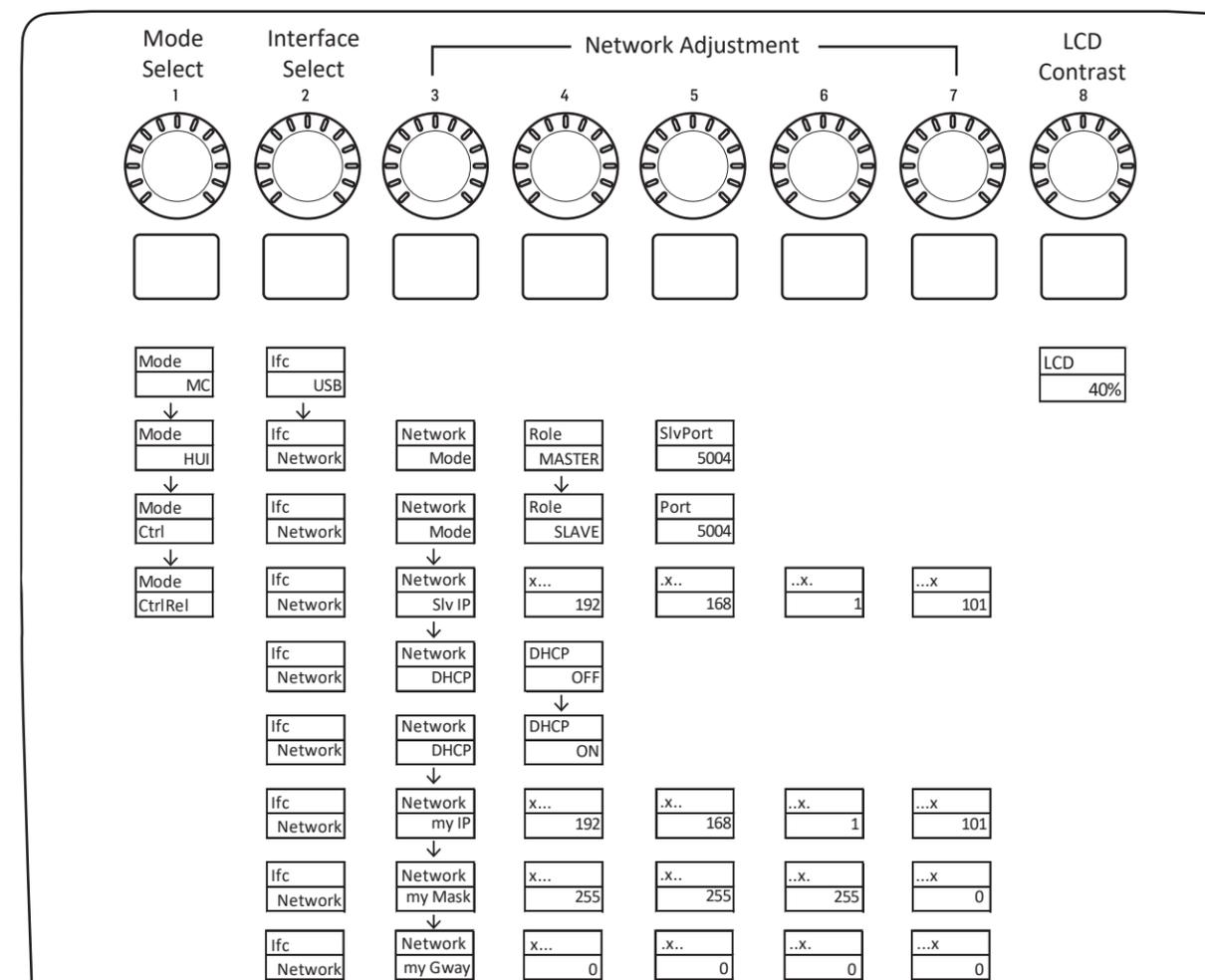
ファームウェアアップデート

現在のファームウェアバージョンは、チャンネル 1 の REC ボタンを押しながら電源スイッチを入れると表示されます。当社ウェブサイトの X-TOUCH EXTENDER 製品のページで、ファームウェアアップデートの有無をご確認ください。現在のファームウェアより新しいバージョンのファームウェアがある場合は、お使いのホストコンピュータに新しいファイルをダウンロードしてください。

ファームウェアアップデートモードにするには、チャンネル 8 の REC ボタンを押しながら電源スイッチを入れます。アップデートモードの間は、REC ボタンが点滅します。新しいファームウェアは USB を通じてダウンロードされます。

ファームウェアファイルの指示に従ってください。

X-TOUCH EXTENDER 構成モード



コンフィギュレーション セットアップモード:

コンフィギュレーション セットアップモードにするには、CH1 SELECT ボタンを押しながら電源を入れます。

オペレーションモードを、エンコーダー 1 を回して選択します。

USB またはネットワークを、エンコーダー 2 を回して選択します。

ネットワーク設定は、エンコーダー 3~7 を使用して変更します。

LCD コントラストは、エンコーダー 8 を回して調節します。

CH1 SELECT ボタンを押して本モードを終了します。

ファームウェアバージョン:

現在のファームウェアバージョンを表示するには、CH1 REC ボタンを押しながら、電源を入れます。

表示を終了するには、CH1 REC ボタンをリリースします。

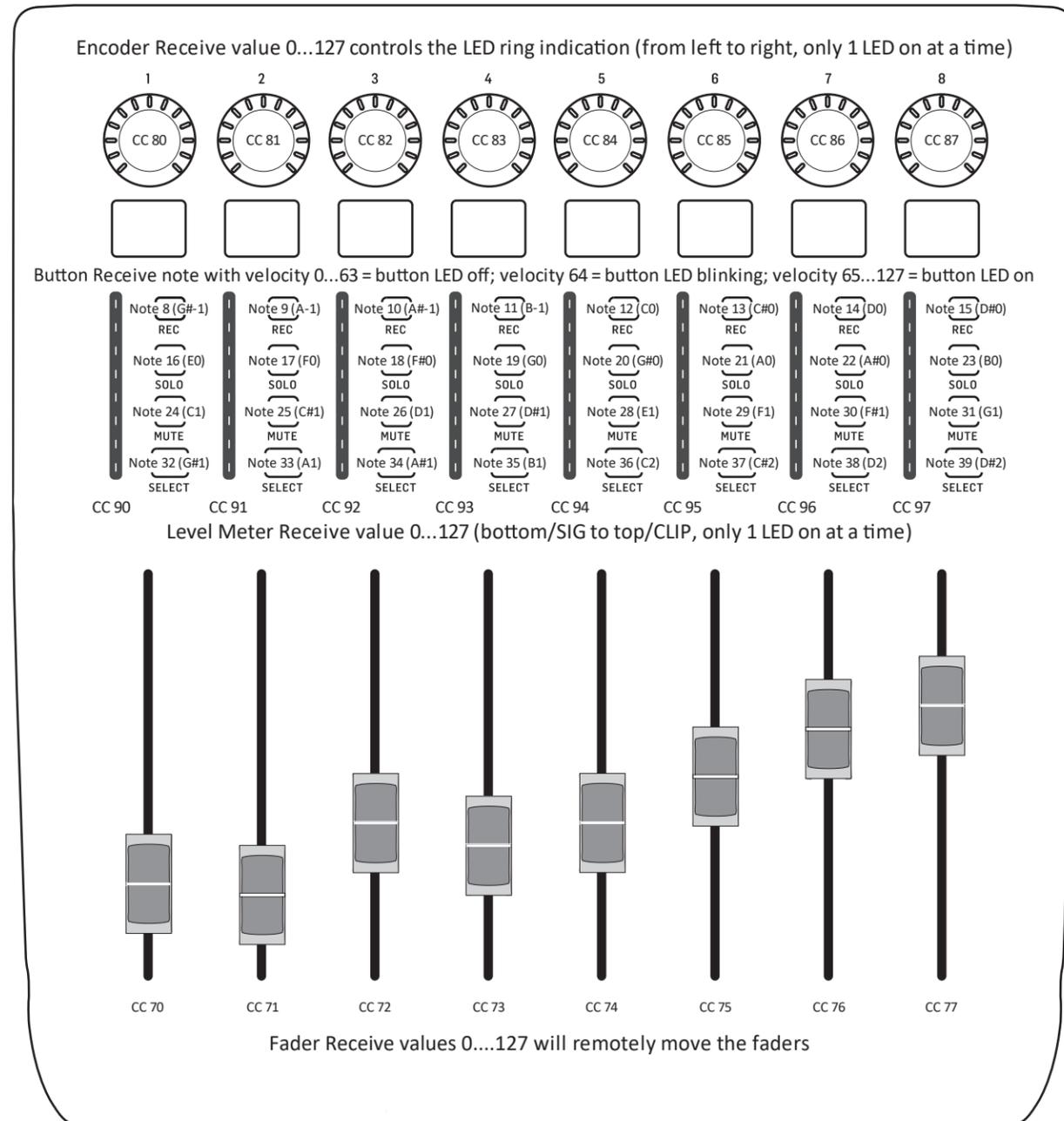
ファームウェアアップデート:

ファームウェア アップデートモードにするには、CH8 REC ボタンを押しながら電源を入れます。

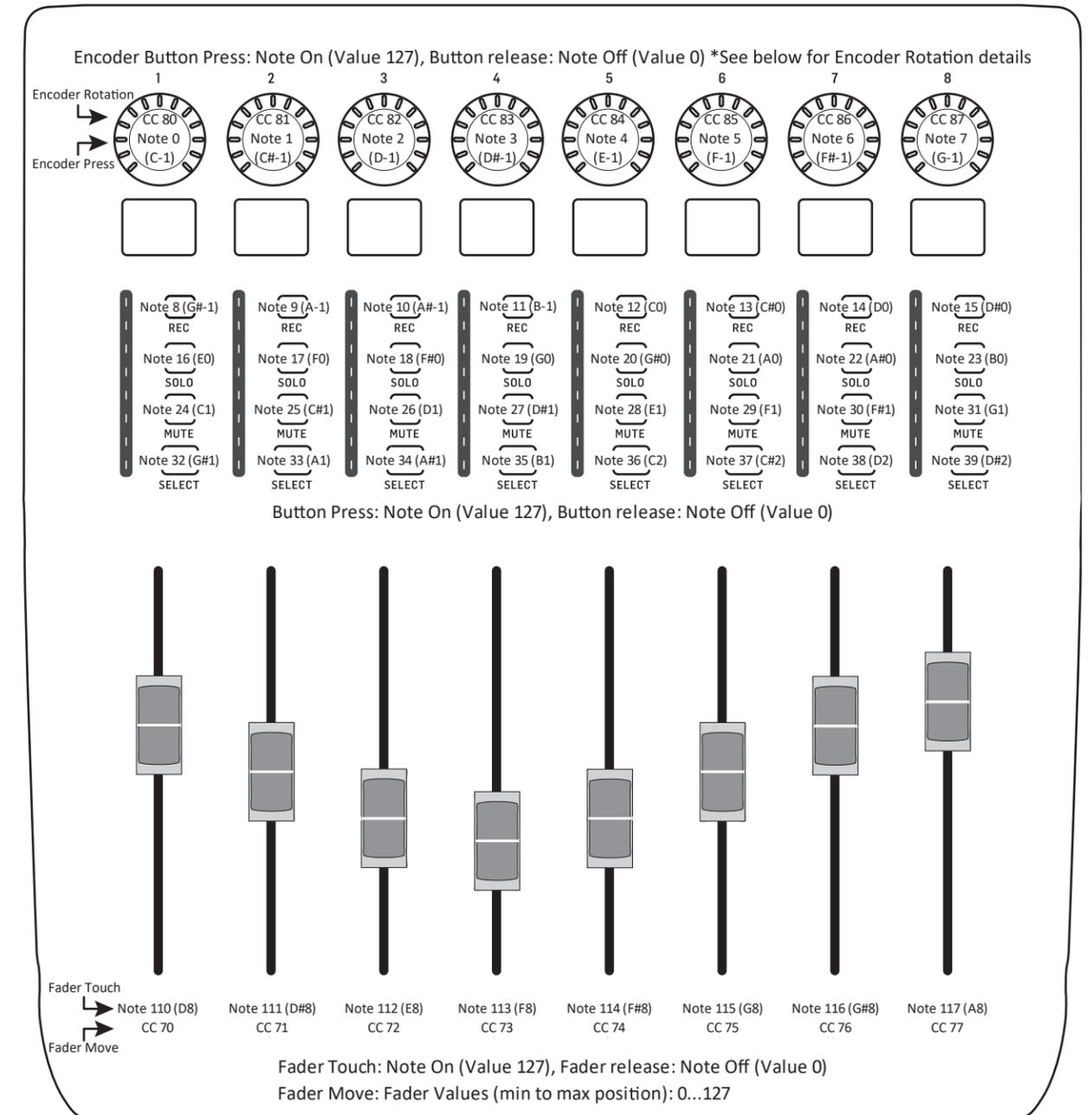
REC ボタンが点滅します

SysEx MIDI ファイルを USB 経由でダウンロード可能になります。

X-TOUCH EXTENDER MIDI 受け取る



X-TOUCH EXTENDER MIDI 送信



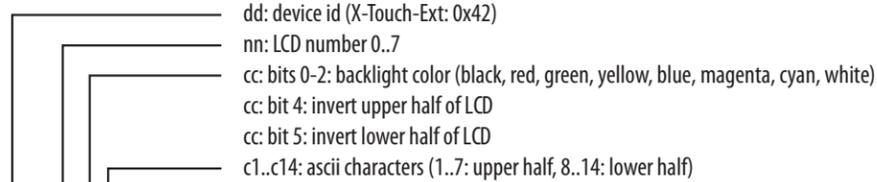
MIDI Receive モードでは、CTRL モードおよび CTRL REL モードは同一になります。

* CTRL モードでは: エンコーダー回転値 (左端から右端): 0...127

* CTRL REL モードでは: エンコーダー回転 左回り (減少) = 値 1 / 右回り (増加) = 値 65

Encoder Rotation (エンコーダー回転) 機能の違いを除き、CTRL モードおよび CTRL REL モードは同一です。

LCDs:



SysEx (hex):

F0 00 20 32 dd 4C nn cc c1 .. c14 F7

X-TOUCH EXTENDER を RTP MIDI で使用する

X-TOUCH EXTENDER は、ネットワーク接続を介して RTPMIDI デバイスとして使用できます。これは、長い USB ケーブルが必要になるシステムで役立ちます。

次の手順は、RTPMIDI 操作の X-TOUCH EXTENDER の一般的な準備と、OS X* ネットワークおよび Windows* ネットワークで使用するための詳細を示しています。

X-TOUCH EXTENDER を RTP MIDI 操作に準備する

- X-TOUCH EXTENDER で、電源投入時に CH1 の SELECT ボタンを押したままにして、[設定]メニューに入ります。落書きストリップディスプレイのテキストを観察します。
- 2 番目のエンコーダーを回してネットワークを選択します。
- 3 番目のエンコーダーでは、MODE または DHCP のいずれかを選択できます。
- MODE は、X-TOUCH EXTENDER を RTP スレーブとして使用するか RTP マスターとして使用するかを選択します。SLAVE モードでは、X-TOUCH EXTENDER の IP アドレスをコンピューターの RTP MIDI 設定に入力する必要があります。MASTER モードでは、3 番目のエンコーダーを右に 1 ティック回して、コンピューターの IP アドレスを入力し、エンコーダー 4~7 を使用して、アドレスを構成する 3 桁のセットを入力できます。ポート 5004 は RTP MIDI の標準ポートであるため、どちらの場合も使用できます。
- DHCP は ON または OFF に設定できます。DHCP が ON に設定されている場合、X-TOUCH EXTENDER は、接続されたネットワーク内で DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得します。DHCP が OFF に設定されている場合、IP、サブネットマスク、およびゲートウェイは、3 番目のエンコーダーを右に回し、次のページにアクセスして手動で入力する必要があります: IP、マスク、および Gway。エンコーダー 4~7 を使用して IP アドレスを入力できます。
- CH1 の SELECT ボタンをもう一度押して、X-TOUCH EXTENDER セットアップを終了します。ディスプレイに次のように表示されます。
IP: 000.000.000.000 待機...
- DHCP が使用されている場合、IP は、ネットワーク内の実際の IP (たとえば、IP: 010.100.001.029) を表示する前に、最初に内部 IP に切り替わります。X-TOUCH EXTENDER の場合がネットワーク経由でコンピュータに接続されている場合、**待機**メッセージは消えます。

X-TOUCH EXTENDER を OS X 内の RTP MIDI デバイスとして使用する

OS X システムの場合、RTPMIDI 操作に外部ドライバーは必要ありません。

奴隷

- コンピューターと X-TOUCH EXTENDER が同じネットワーク内にあることを確認してください。
- コンピューターで AUDIO / MIDI-Settings を開きます。
- MIDI スタジオ / MIDI デバイスウィンドウを開きます。
- 「ネットワーク」をダブルクリックします。
- [ディレクトリ] フィールドの下にある [+] をクリックして、デバイスを追加します。名前、X-TOUCH EXTENDER の IP、およびポート (5004) を挿入します。
- 「マイセッション」フィールドの下にある「+」を押してセッションを作成し、作成したセッションをアクティブにします。
- X-TOUCH EXTENDER をアクティブにして、「接続」をクリックします。
- X-TOUCH EXTENDER が RTP MIDI コントローラーとして利用できるようになりました。DAW のプリファレンスを開き、コントロールサーフェスとして追加します。ほとんどの DAW 内では、自動的に検出されます。

主人

- コンピューターと X-TOUCH EXTENDER が同じネットワーク内にあることを確認してください。
- コンピューターで AUDIO / MIDI-Settings を開きます。
- MIDI スタジオ / MIDI デバイスウィンドウを開きます。
- 「ネットワーク」をダブルクリックします。
- 「マイセッション」フィールドの下にある「+」を押してセッションを作成し、作成したセッションをアクティブにします。
- 「誰が私に接続できるか」については、「誰でも」を選択します。X-TOUCH EXTENDER がセッションの参加者として表示されます。
- X-TOUCH EXTENDER が RTP MIDI コントローラーとして利用できるようになりました。DAW のプリファレンスを開き、コントロールサーフェスとして追加します。ほとんどの DAW 内では、自動的に検出されます。

X-TOUCH EXTENDER を Windows の RTP MIDI デバイスとして使用する

Windows システムでは、RTP MIDI 用のサードパーティの外部ドライバーを使用する必要があります。たとえば、インターネットで「rtpMIDI」を検索し、ダウンロードしてコンピュータにインストールします。

奴隷

- コンピューターと X-TOUCH EXTENDER が同じネットワーク内にあることを確認してください。
- rtpMIDI ドライバーを開きます。
- [ディレクトリ] フィールドの下にある [+] をクリックして、デバイスを追加します。名前、X-TOUCH EXTENDER のポートアドレス (例: 10.100.1.29: 5004) を含む IP を挿入します。
- 「マイセッション」フィールドの下にある「+」を押してセッションを作成し、作成したセッションをアクティブにします。
- X-TOUCH EXTENDER をアクティブにして、「接続」をクリックします。
- X-TOUCH EXTENDER が RTP MIDI コントローラーとして利用できるようになりました。DAW のプリファレンスを開き、コントロールサーフェスとして追加します。

主人

- コンピューターと X-TOUCH EXTENDER が同じネットワーク内にあることを確認してください。
- rtpMIDI ドライバーを開きます。
- 「マイセッション」フィールドの下にある「+」を押してセッションを作成し、作成したセッションをアクティブにします。
- 「誰が私に接続できるか」については、「誰でも」を選択します。X-TOUCH EXTENDER がセッションの参加者として表示されます。
- X-TOUCH EXTENDER が RTP MIDI コントローラーとして利用できるようになりました。DAW のプリファレンスを開き、コントロールサーフェスとして追加します。

技術仕様

コントロール	
LED カラー付きロータリー / プッシュ制御	8
LED バックライト付きボタン	32
フェーダー	8 つの電動フェーダー、100 mm、タッチセンシティブ
力	オン / オフスイッチ
表示	
回転制御位置	13 セグメント LED x 8
チャンネルレベル	SIG および CLIP x 8 を備えた 8 セグメント LED
チャンネル表示	カラー LCD 落書きストリップ x 8
コンピューター接続	
USB	USB 2.0、タイプ B
イーサネット	RJ45
USB ハブ	
タイプ	マルチ TTUSB 2.0
コネクタ (x2)	USB 2.0、タイプ A
電圧 (外部デバイスへの USB 電源)	5V
電源	
タイプ	内部スイッチモード電源
電圧	100~240 VAC 50/60 Hz
消費電力	30 W
主電源接続	標準 IEC レセプタクル
物理的	
標準動作温度範囲	5°C - 45°C (41°F - 113°F)
寸法 (H x W x D)	97 x 290 x 303 mm (3.8 x 11.4 x 11.9")
重量	3.1 kg (6.8 lbs)

*OSX は Apple Inc. の商標です。

*Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You